

委員会報告

総務常任委員会

3月12日に付託された
 請願1件について審査
 し、新聞への消費税軽減
 税率適用は当然で、原案
 どおり意見書を提出との
 意見があり、審査の結果、
 請願は、全会一致をもつ
 て採択しました。

Q 退職手当組合負担金の率はどうようになったのか？

A 退職手当組合への負担金料率は、職員の給料の1,000分の200です。一般会計職員で、9,058万円です。

社会経済常任委員会

3月12日に付託された
 陳情1件について審査
 し、陳情「協同労働の協
 同組合法（仮称）」の速
 やかなる制定を求める意
 見書に関する陳情は審査
 の結果、継続審査としま
 した。

Q 退職手当組合へは掛け金を上回る支払いが8億と聞いたが現在はどうか？

A 退職手当組合への負担金支払い総計額に対して、これまでの退職者に支払われた退職金を差し引きすると、5億7,500万円ほど支払額が多くなっております。

予算決算特別委員会報告

平成26年度下仁田町一般会計予算（新年度予算）について審議をしました。

職員数を減員していることから掛け金より、支払金が上回ることとなっておりますが、今後、各年ごとの退職者が少なくなり、掛け金が支払額を上回り、

利用を開始し、駐車場整備、トイレ整備等工事を発注したい。シャトルバス、シャトルワゴンの運行も計画している。風穴の現場では、6月末には若干工事が残っているようなことが考えられる。

Q ねぎサミットの開催と、組み合わせは。

町長 世界遺産とジオパーク、そしてねぎサミットと、これらを連携して進めるべく協議している。本年6月、世界遺産登録の発表後に登録記念事業等開催する方向で準備を進めている。

Q ふるさと納税の推移と今後の取り組みは。

企画財政課長 基金の積立金は、2月末での累計額803万4,275円、寄附金をいただきました人たちは現在82名で、町外者が30名、うち県外者が16名でございます。

Q 寄附金制度の生かすべき点は、寄附していた方に、ねぎサ

と判断した場合に、要請。町では孤立集落への物資搬送と除雪3路線の4件を要求。

Q 今後の防災マニュアル作成は。

町長 防災マニュアルも町民、住民の大きなご理解をいただいた中で、今後、大幅な検討を加えて対応していきたい。



雪害の状況

Q 荒船の風穴の修復進捗状況や駐車場整備、安全対策への検証は。

教育課長 新駐車場は、早い時期に覆工板による仮設の駐車場として

